

73 Komyo-in Temple Period 1939 Kyoto City Higashiyamaku Tel:075-561-7317

重森が昭和14年に作った庭。最初期の作品であるが新たな試みがあり、後世の作品に影響を与えた。東福寺本坊と同じ年に作られたが、当庭は枯山水による池泉庭園の造形を提案している。

- ・ 枯山水の洲浜庭園：洲浜のある古典庭園はすべて池泉庭園であるが、重森は日本庭園の原点は海洋風景の抽象化と考えていた。よって枯山水庭園でも洲浜が海洋を象徴すると見立てた。
- ・ 三組もある三尊石組：当院は部屋がL字型になっているのでその配置や石組に工夫がある。
- ・ 石組みの基本：三尊の中心石から無量光が発していて、石はその光線上に配置している。
- ・ 汀の意匠：栗石がばらまかれているが海水のしぶきを象徴している。当初は白砂中にもあった。
- ・ 白砂を枯池に見立てた地割は、後世の日本庭園の地割の基礎になった。



方丈からの全景 正面三尊石組の中心石からの光明線上に石を配置した。



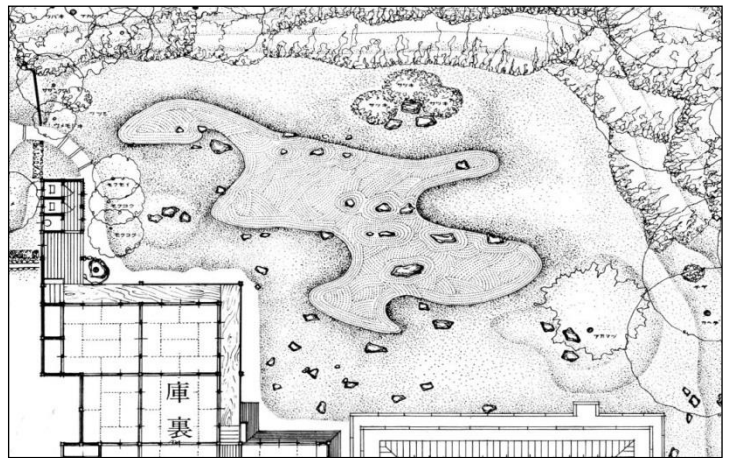
枯山水庭園における初めての洲浜庭園。また、三尊石は三組もある。



美しい洲浜と光明の線上にある石組。背後のツツジは雲紋を表した大苺込。



夕日に映える美しい雪紋も新しい造形だ



設計図：柔らかな曲線に着目してほしい



毛越寺 昭和13年に重森が毛越寺で干潟模様を発見した。光明院はこの意匠を枯山水に応用した最初の庭である。



書院の2階からの俯瞰写真：枯山水の汀には庫裏石が敷かれているが（苔に埋まりそうであるが）、海洋での汀の石であり、打ち寄せる波の飛沫を象徴している。



書院からの庭園。